

新品種候補(2026年1月作成)

育種事業課題名：水稻新品種候補「空育198号」の概要 (211151、211121、211171、211161、211122、721161、721111、721161)

担当部署：中央農試・水田農業部・水田農業グループ、上川農試・研究部・水稻畑作グループ、道南農試・研究部・作物病虫グループ、中央農試・作物開発部・生物工学グループ、中央農試・加工利用部・農產品質グループ

キーワード：水稻、直播栽培、早生、多収、良食味

1. 特性一覧表

系統名：「空育198号」 組合せ：上育471号（えみまる）/空育187号

特性：長所 1. 直播・移植とともに多収である。

2. 食味が「大地の星」より優れ、「えみまる」並である。

3. 直播栽培での倒伏がやや少ない。

4. 「えみまる」より粒厚が厚く、屑米が少ない。

5. 割粒が「えみまる」より少ない。

短所 1. 「えみまる」より低温苗立性が劣る。

普及見込み面積：北海道 4,000 ha

栽培方法	直播栽培					移植栽培(標肥)				
	調査地		育成地(中央農試)		普及見込み地帯 (農試および現地 n=27)	育成地(中央農試)		普及見込み地帯 (農試および現地 n=37)		
調査年次	2021-2025年		2021-2025年		2021-2025年		2021-2025年		2021-2025年	
系統・品種名	空育198号	対照品種 えみまる	対照品種 大地の星	空育198号	対照品種 えみまる	空育198号	対照品種 えみまる	対照品種 大地の星	空育198号	対照品種 えみまる
※出穂期の早晩性	早	かなり早	早	—	—	—	—	—	—	—
※成熟期の早晩性	やや早	早	やや早	—	—	—	—	—	—	—
※草型	偏穗数	偏穗数	偏穗数	—	—	—	—	—	—	—
苗立率(%)	80.0	79.4	76.3	69.5	70.8	—	—	—	—	—
出穂期(月・日)	7.30	7.29	7.31	7.28	7.27	7.18	7.17	7.19	7.19	7.19
成熟期(月・日)	9.12	9.11	9.13	9.10	9.08	9.03	9.01	9.04	9.02	9.01
登熟日数(日)	45	44	44	44	44	48	46	47	45	45
初期茎数(本/m <sup>2</sup> )	661	686	658	471	502	257	290	291	321	353
稈長(cm)	71	74	73	71	74	65	67	67	72	74
穂長(cm)	16.4	16.2	15.3	16.2	15.7	16.7	16.2	15.9	17.5	17.3
穂数(本/m <sup>2</sup> )	743	748	735	711	733	549	614	586	530	576
倒伏程度(0無-7甚)	0.1	0.9	0.4	0.8	1.7	0.0	0.1	0.0	0.5	0.6
一穂粒数	46.7	48.3	46.4	46.4	46.7	47.5	47.4	45.9	55.8	55.4
m <sup>2</sup> あたり粒数(×千粒)	34.8	36.3	34.3	33.2	34.4	26.3	29.1	26.9	29.3	31.2
割粒歩合(%)	4.6	22.8	8.2	—	—	9.1	28.5	8.0	—	—
玄米重(kg/a)	60.2	53.8	58.6	62.3	55.7	58.8	53.5	55.9	65.0	59.6
玄米重「えみまる」比(%)	112	100	109	112	100	110	100	105	109	100
屑米重(kg/a)	2.3	5.1	2.3	1.9	5.1	1.9	3.7	1.7	1.2	3.0
玄米千粒重(g)	25.7	23.2	26.2	25.5	23.0	26.2	23.7	26.8	26.0	23.6
粒厚(mm)	2.06	2.00	2.10	2.07	2.01	2.08	2.02	2.12	2.09	2.03
検査等級	1	1	1	1	1	1	2上	1	1	1
玄米品質 <sup>注1)</sup>	3.4	3.3	4.1	3.6	3.4	3.4	3.3	4.3	3.5	3.2
玄米白度	20.1	20.0	20.2	20.2	20.3	20.5	20.5	20.6	20.0	20.0
白米白度	40.4	39.6	39.0	40.3	39.8	40.2	39.4	38.9	40.0	39.3
タンパク質含有率(%)	6.5	6.6	6.4	6.7	6.9	7.4	7.8	7.6	7.0	7.3
アミロース含有率(%)	18.9	17.2	20.8	18.8	16.9	17.9	16.0	19.6	18.6	16.8
食味 <sup>注2)</sup>	0.23	0.04	-0.20	0.23	0.10	0.26	-0.04	-0.42	0.21	0.04
えみまる基準	0.22	0.00	-0.15	0.25	0.00	-	-	-	-	-
※稈の太さ	やや太	やや細	中	「空育198号」実需評価試験概要						
※芒の多少・長短	極稀・極短	少・短	稀・短	試験名 搞精試験 食味特性評価						
※ふ先色	白	白	白	実施企業 A社 B社 C社						
※脱粒性	難	難	難	年次/用途 — 白飯 おにぎり シャリ玉 白飯						
※耐倒伏性	中	中	中	2024 ○ □ □ □ □						
※穂ばらみ期耐冷性	やや強	やや強	強	2025 ◎ □ ○ ○ □						
低温苗立性	弱	中	弱	試験名 食味特性評価						
いもち病	遺伝子型 葉いもち ※穂いもち	Pia, Pii, Pik やや強 やや強	Pia, Pii やや強 やや強	実施企業 D社 E社 F社						
抵抗性			強 やや強	年次/用途 白飯 おにぎり 白飯 酢飯 シャリ玉 白飯						
				2024 □ ○ ◎ ○ ◎ □						
				2025 □ ○ □ ○ □ ○						

注1) 玄米品質は9ランクで計算。数値は上下:3、中上:4、中中:5とした平均値。

注2) ななつぼし基準は移植栽培産、えみまる基準は直播栽培産を基準として使用。

注3) ※のついた項目は移植栽培での調査。

注1) 2024 : 2023年中央農試移植栽培産、2025 : 2024年空知管内G市直播栽培産を供試

注2) 結果概要是以下の5段階で評価。対照品種「えみまる」と比較して

◎: 優れる、○: やや優れる、□: 並、△: やや劣る、×: 劣る

## 2. 特記すべき特徴

「空育 198 号」は、出穂期“早”で直播栽培が可能であり、直播・移植栽培とともに「大地の星」、「えみまる」より多収である。直播栽培での倒伏が両対照品種よりやや少なく、「えみまる」と比較して割穂が少ない。「えみまる」より千粒重が重く粒厚が厚いため、屑米（篩下）が少ない。食味は「大地の星」より優れ「えみまる」並である。

## 3. 優良品種に採用しようとする理由

農業従事者が減少するなかで米の供給量および水張り面積を維持するために、北海道では直播栽培や高密度播種栽培など低コスト・省力化技術を推進している（第6期北海道農業・農村振興推進計画）。実際、これら省力化技術は急速に普及しており、北海道の直播栽培面積は6年間で約3倍（2018年：2,273ha、2024年：6,270ha）、高密度播種栽培面積は3年間で5倍に増えている（2021年：1,318ha、2024年：6,677ha）。

早生品種「大地の星」は多収で道央を中心に約500ha直播栽培されているが、食味が「ななつぼし」などよりやや劣るため実需における使用用途が限定され、需要が減少している。一方、2018年に育成された早生品種「えみまる」は「ななつぼし」並に良食味で、実需では各種用途に使用可能な品種である。このため、直播栽培・高密度播種栽培で急速に普及が進んでいるが、粒厚が薄く、直播栽培では倒伏しやすいため、収量が不安定であることが問題となっている。したがって、省力栽培技術の普及推進には、栽培様式を問わず安定して多収で、倒伏しにくく、各種用途に使用できる早生良食味品種が必要である。

「空育 198 号」は出穂期が「えみまる」よりやや遅く「大地の星」並の“早”であり、直播栽培・高密度播種栽培に適する。直播・移植栽培ともに収量性が「大地の星」、「えみまる」より優れ、直播栽培での倒伏の発生は両対照品種よりやや少ないと、また、千粒重が「えみまる」より重く、粒厚が厚く屑米が少ないとから、安定多収が期待される。さらに、割穂が「えみまる」より少ないとから、斑点米による品質低下のリスクが少ない。実需評価は「えみまる」並であり、各種用途に使用可能である。

以上から、「空育 198 号」を早生の良食味品種として「大地の星」の全てと「えみまる」の一部に置き換えて普及させることにより、水稻栽培の省力化を推進し、北海道米の生産振興および持続可能な農業の実現に貢献する。

## 4. 普及見込み地帯と対照品種

### 1) 栽培地帯

直播栽培：北海道水稻優良品種作付指標のうるち品種熟期区分 1 および 2 地域

移植栽培：北海道のうるち米作付地帯

### 2) 普及見込み面積：北海道 4,000 ha

### 3) 対照品種：「大地の星」の全てと「えみまる」の一部

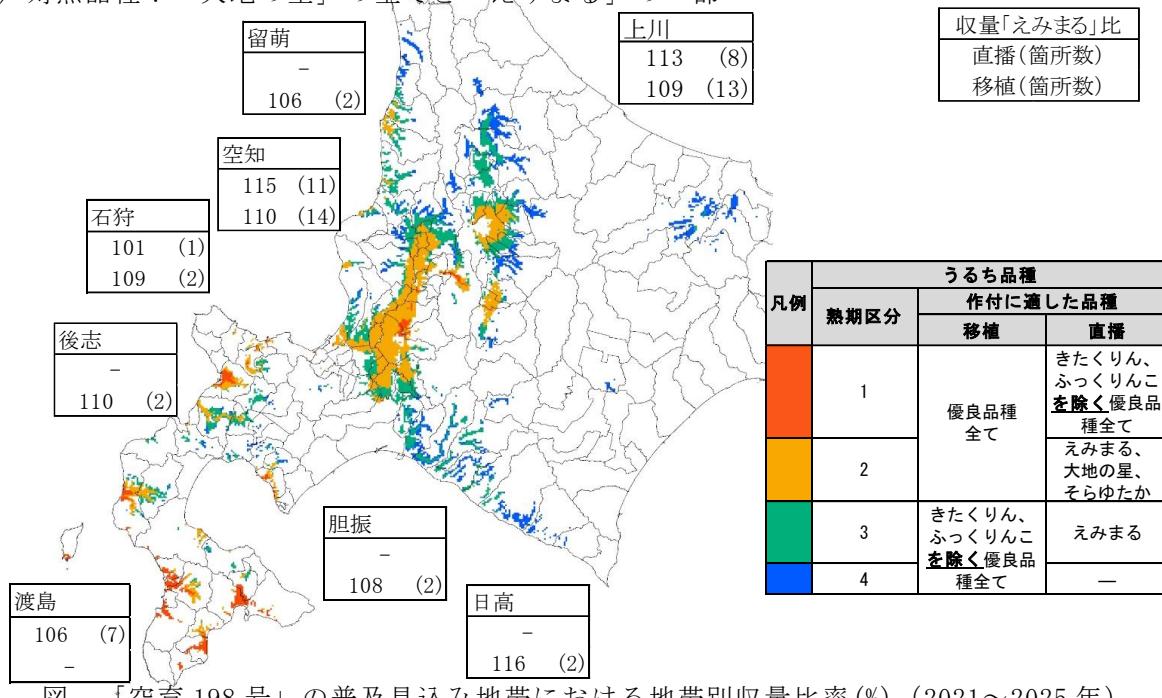


図 「空育 198 号」の普及見込み地帯における地帯別収量比率(%) (2021～2025 年)

## 5. 栽培上の注意

- 移植栽培では早期異常出穂の発生が「大地の星」、「えみまる」と同程度に懸念されるため、育苗ハウスの適正な温度管理に努め、基準の育苗日数を遵守する。
- 「えみまる」より千粒重が重く、低温苗立性が劣ることから、直播栽培では適切な苗立ち本数（150 本/m<sup>2</sup>以上）を確保するよう播種量に留意する。